



ひばりぐみだより「ふゆ」

チャリティー第一保育園
令和8年3月発行

4期(12月～3月)までの目標

- 保育教諭等の仲立ちの下、友達と会話をする楽しさや一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 寒い季節を元気に過ごす。

寒い季節は室内にこもりがちになんて姿は、園にはありません。室内でもおおいに体を動かして楽しめる「リトミック」を取り入れ、リズムと足踏みを合わせたり思い切り走ったり楽しみます。合間には休憩と水分補給もはさむことで健康な体作りを学びます。



待ってー！

はと組と活動をする事が主なひばり組。じっとはとさんの動きを眺めて観察をしています。仲間に入れてもらえると喜び、同じ遊びをしようとします。



大きい箱に入ってもいいよ

広くて気持ちいい～

午後のおやつ後に子ども達が椅子を移動させ、バスごっこに。すずめさんも仲間に入り、みんなで乗車しました。



みんなで乗ると楽しいね

今年初めての園庭雪遊び。防寒具を着用していざ一面の雪へ。今まで遊んでいた園庭とは違い、踏みしめて歩いたり雪に触れるなどして大興奮でした！



雪入れてもいい？



いいよ。もっと入れよう！

わくわく活動の様子

ワクワク活動のテーマ「雨と水・葉と花・鳥・虫・雪」の中から今回は「雪(氷)」の保育風景をご紹介します。

『園庭に初めて雪が積もった日』
午睡から目覚めたお友だちが部屋で遊んでいると雪を発見!!
扉を開けてみんなで眺めました。



雪が積もってるよ

触ってみて

冷たい！



『雪に水を入れるとどうなるかな』
水を入れる事には全く抵抗感を見せず「もっとちょうだい」と何度も水を入れたり、雪を足してまぜていました。
「かき氷みたい」というお友だちの発言をきっかけに「(バケツの色から)ピンクになってきた」という発見につながっていきました。



水を入れたらどうなるのかな…



雪遊びをしたいけれど天気が思わしくないときにはテラスに雪を持ち込んで遊びます。園庭の砂遊びで使い慣れている玩具を提供すると、バケツ一杯に雪を詰め込んだりシャベルで雪をすくって窓から投げるなど、思い思いに雪に触れる姿が見られました。

えい！



転ばないようにゆっくり、ゆっくり。

なんだか硬いし、長いなあ



見て！大きいよ

水を入れてもらうために順番を待っています



今年度のひばり組は高月齢児が多く、主に一緒に活動するはと組の行動をお手本にまねようとする姿が多く見られました。生活や遊びに必要な言葉や自分の気持ちを表現するための言葉を少しずつですが使えるようになってきたり、自分が経験したことをごっこ遊び(病院、食べ物屋さん)で表現するようになってきたりと、1年を通して、子どもたちのすくすくと成長していく姿を身近に感じることが出来、感謝しております。行事に関しましてはその都度ご協力をいただきましてありがとうございました。春からも子ども達の成長を保護者の皆様とともに見守っていきたいと思っております。一年間、ありがとうございました。

てるこ先生

四季を通して色々な体験をしていく中で、たくさんの方の成長が見られました。これからも色々なことができる喜びを見出していけるようにしたいと思います。

のり子先生

個性豊かなひばり組。笑顔が絶えない子どもたちと一緒に遊ぶことができとても楽しかったです。これからの成長が楽しみです。